

短歌 (投稿順)

有能な人達ばかり先に逝く無能な俺はいつまでも生く
蓮の華鎮座ましますカマキリは観音菩薩か亡き祖母の化か
思い出すノストラダムスの大予言ハルマゲドンはコロナ禍なのか
五年待ちし選手ら感謝の涙してメダルを胸にす東京五輪
古希過ぎしわが手が語る歳月は今思わゆる邯鄲の夢
長雨と副反応で秋野菜蒔けぬ畑に秋茜舞ふ
十二個のトランペットは蓄付け希望の如く日ごと膨らむ
パラリンピック選手の闘志に魅了され生きる気力と精気を貰ふ
夏休み飛花落葉のコロナ禍にDNAのレポートを書く
あの嶺もこの谷筋もわが猟場鼓動高鳴るいと懐かしき
新型コロナ緊急事態延長す多難続出自粛を守る
弟の新盆見舞遣る瀬なし良き想い出の多く残さる
盆棚になき義母植えたほおづきを供え拝みし十一年経る
この夏も帰省も無くて寂しくて二階へ上がりアルバムを見る
夏草に追われ追われる我が畑長雨日照で種も芽が出ず
終戦日「平和の俳句」入選す琉美花さんの記事朝刊に見つ

皆野 萩原 初恵
三沢 眞下 杏子
新涼の清しき朝の深呼吸
つやつやの黒髪の少女夏木立
皆野 櫻井 早苗
明日の米研いで見上げる月高し
下田野 新井 節子

皆野 石原 達也
皆野 大澤 貴夫
上田野 四方田利男
三沢 眞下 杏子
皆野 萩原 初恵
皆野 打木 昭廣
三沢 新井 叶子
皆野 中 太幡琉美花
皆野 戸塚喜久雄
皆野 根岸 詩子
下田野 浅見 豊子
国神 藤原マキ子
下田野 新井 節子
皆野 村田ハツ代
皆野 引間 万亀

俳句 榎本順江 選 投稿数 16句

二倍速過ぎゆく休み遠花火
皆野中 太幡 琉美花
(評)夏休みの前半に宿題は済ませ、後半はのんびりと、と思ってもなかなかそうは行きませ
ん。休みも終盤になり、課題もまだ残っているのに時間は容赦ありません。二倍速に込め
られた作者の気持ち伝わります。遠くから花火の声援です。二句目、これから先の安住
の地を何処に、決断し難い事でしょうが、作者は秩父に決めました。新しい人との出会い
や豊かな自然との触れ合いも楽しいものです。もう秋、俳句がたくさん出来そうです。三
句目、秋の味覚の栗。そろそろ拾えるかと栗畑へ行ってみました。有り余る程は拾えませ
んが、今日の献立に丁度良い量は拾えた様です。今晚は初物の栗ご飯でしょうね。

終の住処秩父に求め秋来たる
下田野 小原 和夫
送火を灯して帰路の肩軽し
三沢 新井 叶子
初物の栗足るだけを拾いけり
三沢 新井 民子
盆の客愛し曾孫のグータッチ
下田野 浅見 豊子
溪を翔つ鷺の白さよ秋の雨
三沢 眞下 杏子
新涼の清しき朝の深呼吸
皆野 根岸 詩子
居待月草叢にあるオーケストラ
皆野 萩原 初恵
つやつやの黒髪の少女夏木立
皆野 櫻井 早苗
懐メロの心に染みる処暑の夜
皆野 村田ハツ代
明日の米研いで見上げる月高し
下田野 新井 節子

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。



11月号の締め切りは、10月11日(月)です。

問合せ みらい創造課 政策推進担当
☎26-7334

今月の題字

皆野小5年



櫻井 花穂さん

児童の見守り放送

三沢小6年



小川 楽翔さん